



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 豊田通商株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 8015 URL <https://www.toyota-tsusho.com/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 貸谷 伊知郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 會田 靖 TEL 052-584-5482  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業活動に係る利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,689,853	2.4	55,659	△1.5	81,561	18.7	62,154	16.4	55,612	19.2	37,048	264.6
2019年3月期第1四半期	1,650,063	4.8	56,481	15.1	68,740	14.4	53,375	22.2	46,673	26.0	10,160	△83.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	158.05	—
2019年3月期第1四半期	132.64	—

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,535,302	1,380,259	1,213,404	26.8
2019年3月期	4,441,464	1,389,616	1,195,826	26.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	円 銭
通期	150,000	13.1	426.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は [添付資料] 12ページ「2. (5) (会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	354,056,516株	2019年3月期	354,056,516株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	2,198,991株	2019年3月期	2,169,331株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	351,874,903株	2019年3月期1Q	351,885,835株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、2019年7月31日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①経営環境

当第1四半期連結累計期間の世界経済を概観しますと、米国は堅調なもの、欧州・中国の景気低迷等により、全体として減速基調となりました。

米国経済は、堅調な雇用・所得環境と設備投資の拡大に加え、FRBの利上げ路線転換等により、回復基調が継続しました。欧州経済は、輸出減少と内需低迷及び英国経済減速等により、緩やかに減速しました。また、英国のEU離脱交渉難航等により先行き不透明感が増大しました。中国経済は、「量から質」重視への成長戦略転換の下、投資主導から消費主導へ経済のリバランスが進む中、減税・補助金等の経済政策で景気下支えを図るも、インフラ投資停滞に加え消費マインド悪化等により、減速基調が継続しました。また、米国との貿易摩擦激化等により、先行き不透明感が増大しました。新興国経済は、中国経済減速等による輸出減や資源価格低迷等により、緩やかに減速しました。

こうした中、わが国経済は、中国経済減速によるアジア向け輸出減少等により、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善と各種政策の効果等により、緩やかな回復基調が継続しました。一方で貿易摩擦や欧州・中国等の海外経済の低迷等により、景気後退懸念が強まりました。

## ②セグメント別の事業活動

## (I) 金属

水酸化リチウムの生産・供給体制の構築を目的に、オーストラリアのリチウム資源開発会社Orocobre Limitedと共に、福島県双葉郡楢葉町において豊通リチウム株式会社を設立し、生産開始に向けて2019年6月に同町と立地協定を締結しました。

## (II) グローバル部品・ロジスティクス

自動車部品のグローバルサプライチェーンマネジメント効率化を目指し、豊通物流株式会社と共に、入庫時のRFID (Radio Frequency Identification) タグ読取りシステムと、当該装置がAGV (Automatic Guided Vehicle/無人搬送車) と一体となった棚卸用のシステムを製作し、2019年4月に試験導入しました。

## (III) 自動車

ミャンマーでのトヨタブランドのさらなる確立と同国経済への貢献を目的に、トヨタ自動車株式会社が設立した車両生産会社TOYOTA MYANMAR CO., LTD. に、2019年6月に投資しました。

## (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

再生可能エネルギーのさらなる普及と電動車の付加価値向上を目指し、中部電力株式会社と共同で、車載蓄電池に充電した電気を電力系統に供給する「V2Gアグリゲーター実証事業」(V2G: Vehicle to Grid) を昨年度に引き続き経済産業省より受託し、2019年5月より実証事業を開始しました。

## (V) 化学品・エレクトロニクス

次世代モビリティ向け車載制御システムの開発強化を目的に、2019年5月にスマートホールディングス株式会社に投資し、同社と業務提携しました。

## (VI) 食料・生活産業

インドネシアでの在留邦人数増加による高品質住宅への需要に応えるため、ファミリー向けサービスアパートメント開発・運営のための新会社PT. Toyota Tsusho Real Estate Cikarangを2019年3月に設立し、建設に向けた準備を進めています。

## (VII) アフリカ

アフリカにおけるトヨタ中古車ユーザー向けサービスの強化を目的に、Toyotsu Auto Mart Kenya Limitedと共に、ケニア・ナイロビのJapan Vehicle Service Centerを「TEAM TOYOTA」提携整備工場のアフリカ第1号店として、2019年6月に認定し、拡大に向け取り組んでいます。

## ③当四半期連結累計期間の経営成績

当社グループの当第1四半期連結累計期間の収益はアフリカ本部における自動車販売の増加等により、前年同四半期連結累計期間を398億円(2.4%)上回る1兆6,898億円となりました。

利益につきましては、営業活動に係る利益は売上総利益の増加の一方で販売費及び一般管理費の増加等により、前年同四半期連結累計期間を8億円(1.5%)下回る556億円となりました。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は営業活動に係る利益の減少の一方で機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部における関連会社株式売却益等により、前年同四半期連結累計期間を90億円(19.2%)上回る556億円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## (I) 金属

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、前年同期並みの、前年同四半期連結累計期間を1億円(1.2%)上回る96億円となりました。

## (II) グローバル部品・ロジスティクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、受取配当金の減少等により、前年同四半期連結累計期間を4億円(5.6%)下回る73億円となりました。

## (III) 自動車

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、海外自動車販売会社の取扱台数減少等により、前年同四半期連結累計期間を23億円(38.0%)下回る37億円となりました。

## (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、電力事業における関連会社株式売却益等により、前年同四半期連結累計期間を130億円(170.9%)上回る205億円となりました。

## (V) 化学品・エレクトロニクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、エレクトロニクス事業の利益率低下等により、前年同四半期連結累計期間を13億円(19.3%)下回る52億円となりました。

## (VI) 食料・生活産業

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、食料事業の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を14億円(172.7%)上回る21億円となりました。

## (VII) アフリカ

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、自動車販売の増加による増益の一方で前期為替影響及び税金費用の増加等により、前年同四半期連結累計期間を3億円(6.7%)下回る32億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、有形固定資産で963億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ939億円増加の4兆5,353億円となりました。また、資本につきましては、四半期利益(親会社の所有者に帰属)等により利益剰余金が382億円増加した一方で非支配持分が269億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ94億円減少の1兆3,802億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	465,861	492,790
営業債権及びその他の債権	1,397,937	1,330,366
その他の金融資産	60,525	69,634
棚卸資産	745,157	769,470
その他の流動資産	133,764	149,641
流動資産合計	2,803,246	2,811,903
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	285,074	286,215
その他の投資	454,647	448,062
営業債権及びその他の債権	27,264	24,985
その他の金融資産	40,796	37,299
有形固定資産	612,587	708,896
無形資産	157,278	158,140
投資不動産	18,628	17,823
繰延税金資産	15,973	15,968
その他の非流動資産	25,967	26,007
非流動資産合計	1,638,217	1,723,398
資産合計	4,441,464	4,535,302

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本の部		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,199,839	1,200,761
社債及び借入金	509,924	496,429
その他の金融負債	15,679	20,606
未払法人税等	24,627	25,079
引当金	6,224	5,709
その他の流動負債	133,762	163,786
流動負債合計	1,890,057	1,912,374
非流動負債		
社債及び借入金	993,122	987,365
営業債務及びその他の債務	2,302	71,746
その他の金融負債	20,964	25,884
退職給付に係る負債	41,752	42,364
引当金	26,208	26,449
繰延税金負債	63,661	61,704
その他の非流動負債	13,779	27,152
非流動負債合計	1,161,790	1,242,668
負債合計	3,051,847	3,155,043
資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	150,933	151,894
自己株式	△3,596	△3,693
その他の資本の構成要素	50,394	28,951
利益剰余金	933,159	971,315
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,195,826	1,213,404
非支配持分	193,789	166,854
資本合計	1,389,616	1,380,259
負債及び資本合計	4,441,464	4,535,302

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
収益		
商品販売に係る収益	1,623,889	1,662,687
サービス及びその他の販売に係る収益	26,173	27,165
収益合計	1,650,063	1,689,853
原価	△1,492,727	△1,531,181
売上総利益	157,335	158,672
販売費及び一般管理費	△102,285	△104,625
その他の収益・費用		
固定資産処分損益	384	378
固定資産減損損失	△66	—
その他	1,113	1,234
その他の収益・費用合計	1,431	1,612
営業活動に係る利益	56,481	55,659
金融収益及び金融費用		
受取利息	2,257	3,342
支払利息	△6,369	△7,441
受取配当金	11,155	9,537
その他	△84	13,583
金融収益及び金融費用合計	6,959	19,022
持分法による投資損益	5,298	6,879
税引前四半期利益	68,740	81,561
法人所得税費用	△15,364	△19,406
四半期利益	53,375	62,154
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	46,673	55,612
非支配持分	6,701	6,542
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）		
基本的1株当たり四半期利益（円）	132.64	158.05
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	—	—



## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	53,375	62,154
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△213	146
FVTOCIの金融資産	△26,388	△3,729
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△29	△109
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△70	△1,245
在外営業活動体の換算差額	△12,042	△23,308
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△4,471	3,140
税引後その他の包括利益	△43,214	△25,105
四半期包括利益	10,160	37,048
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	6,413	34,318
非支配持分	3,747	2,729

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	150,921	△3,578	—	248,425	△12,961	△105,520	129,943
四半期包括利益								
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				△240				△240
FVTOCIの金融資産					△25,710			△25,710
キャッシュ・フロー・ヘッジ						120		120
在外営業活動体の換算差額							△14,428	△14,428
四半期包括利益	—	—	—	△240	△25,710	120	△14,428	△40,260
所有者との取引額								
配当金								
自己株式の取得及び処分等		0	△5					
非支配持分の取得及び処分		183						
利益剰余金への振替				240	2			243
その他								
所有者との取引額合計	—	183	△5	240	2	—	—	243
四半期末残高	64,936	151,105	△3,583	—	222,717	△12,840	△119,949	89,926

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	832,495	1,174,718	187,468	1,362,187
四半期包括利益				
四半期利益	46,673	46,673	6,701	53,375
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		△240	0	△240
FVTOCIの金融資産		△25,710	△680	△26,391
キャッシュ・フロー・ヘッジ		120	233	353
在外営業活動体の換算差額		△14,428	△2,508	△16,936
四半期包括利益	46,673	6,413	3,747	10,160
所有者との取引額				
配当金	△17,253	△17,253	△6,443	△23,697
自己株式の取得及び処分等		△5		△5
非支配持分の取得及び処分		183	△80	103
利益剰余金への振替	△243	—		—
その他			△2	△2
所有者との取引額合計	△17,496	△17,074	△6,527	△23,601
四半期末残高	861,672	1,164,057	184,688	1,348,746

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	150,933	△3,596	—	192,460	△10,226	△131,839	50,394
四半期包括利益								
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				29				29
FVTOCIの金融資産					△3,645			△3,645
キャッシュ・フロー・ヘッジ						3,367		3,367
在外営業活動体の換算差額							△21,044	△21,044
四半期包括利益	—	—	—	29	△3,645	3,367	△21,044	△21,293
所有者との取引額								
配当金								
自己株式の取得及び処分等		0	△97					
非支配持分の取得及び処分		960						
利益剰余金への振替				△29	△120			△149
その他								
所有者との取引額合計	—	961	△97	△29	△120	—	—	△149
四半期末残高	64,936	151,894	△3,693	—	188,693	△6,859	△152,883	28,951

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	933,159	1,195,826	193,789	1,389,616
四半期包括利益				
四半期利益	55,612	55,612	6,542	62,154
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		29	0	29
FVTOCIの金融資産		△3,645	△75	△3,721
キャッシュ・フロー・ヘッジ		3,367	△1,202	2,164
在外営業活動体の換算差額		△21,044	△2,534	△23,578
四半期包括利益	55,612	34,318	2,729	37,048
所有者との取引額				
配当金	△17,605	△17,605	△5,980	△23,585
自己株式の取得及び処分等		△96		△96
非支配持分の取得及び処分		960	△23,671	△22,711
利益剰余金への振替	149	—		—
その他			△12	△12
所有者との取引額合計	△17,455	△16,741	△29,664	△46,405
四半期末残高	971,315	1,213,404	166,854	1,380,259

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	68,740	81,561
減価償却費及び償却費	19,548	24,662
固定資産減損損失	66	—
金融収益及び金融費用	△6,959	△19,022
持分法による投資損益 (△は益)	△5,298	△6,879
固定資産処分損益 (△は益)	△384	△378
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△79,524	56,471
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△51,251	△32,221
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	75,409	△32,178
その他	△8,672	5,560
小計	11,673	77,574
利息の受取額	2,152	3,330
配当金の受取額	12,996	14,881
利息の支払額	△5,245	△6,204
法人所得税の支払額	△23,901	△23,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	65,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	6,359	△1,435
有形固定資産の取得による支出	△20,005	△23,330
有形固定資産の売却による収入	2,846	1,860
無形資産の取得による支出	△3,860	△3,478
無形資産の売却による収入	1,829	48
投資不動産の売却による収入	4,286	760
投資の取得による支出	△13,233	△6,310
投資の売却等による収入	896	18,877
子会社の取得による収支 (△は支出)	—	△158
子会社の売却による収支 (△は支出)	3,955	34
貸付けによる支出	△4,059	△1,019
貸付金の回収による収入	5,064	2,795
補助金による収入	—	9,849
その他	2,567	657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,353	△849

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	24,737	7,975
長期借入れによる収入	6,800	10,423
長期借入金の返済による支出	△4,421	△24,247
自己株式の取得による支出	△5	△97
配当金の支払額	△17,253	△17,605
非支配持分株主への配当金の支払額	△6,443	△5,980
非支配持分株主からの払込みによる収入	212	787
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△1,766	△555
非支配持分株主への子会社持分売却による収入	95	263
その他	△942	△4,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,014	△33,763
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,662	31,185
現金及び現金同等物の期首残高	423,426	465,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,894	△4,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	406,870	492,790

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(リース)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)を適用しております。

借手はすべてのリースを連結財政状態計算書に認識する単一のモデルにより会計処理することが求められております。借手は、リースの開始日において、原資産をリース期間にわたり使用する権利を表す資産(使用権資産)とリース料に係る支払義務(リース負債)を認識します。その後、使用権資産から生じる減価償却費とリース負債から生じる利息費用を別個に認識します。

IFRS第16号適用にあたっては、以下の経過措置及び便法を採用しております。

- ・適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。
- ・適用開始日以前に締結したリース取引については、IAS第17号及びIFRIC第4号を適用してリースとして識別された契約にIFRS第16号を適用しております。
- ・短期リース及び少額リースは、使用権資産及びリース負債を認識しておりません。
- ・適用開始時点において、リース期間を算定する際、事後的判断を使用しております。

また、適用開始日現在の要約四半期財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は2.2%です。

なお、2019年3月31日時点でIAS第17号を適用して開示した解約不能オペレーティング・リース契約に基づく最低リース料総額とIFRS第16号適用開始時に認識したリース負債の差額は13,375百万円です。これは主にIFRS第16号適用に際して、リース期間の見直しを行ったことによる影響です。

これにより従前の会計基準を適用した場合と比較し、当期首時点で有形固定資産に含まれる使用権資産が92,878百万円増加、その他の金融負債に含まれるリース負債が93,004百万円増加しています。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの収益、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	化学品・ エレクトロニクス	食料・ 生活産業
収益						
外部収益	442,956	222,749	156,709	221,024	360,492	104,160
セグメント間収益	503	5,306	5,872	690	2,955	100
計	443,459	228,056	162,582	221,715	363,447	104,260
売上総利益	25,863	19,305	21,241	22,322	26,640	10,006
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	9,577	7,794	6,018	7,593	6,548	797
セグメント資産	921,382	394,653	293,841	775,961	719,065	288,504

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	141,371	1,649,465	598	—	1,650,063
セグメント間収益	6,214	21,643	213	△21,856	—
計	147,586	1,671,108	811	△21,856	1,650,063
売上総利益	33,167	158,547	566	△1,778	157,335
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	3,520	41,850	4,388	434	46,673
セグメント資産	540,657	3,934,066	757,784	△292,598	4,399,251

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。

2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	440,750	228,241	159,068	193,385	362,895	107,118
セグメント間収益	486	6,960	661	1,245	1,267	156
計	441,236	235,202	159,730	194,630	364,162	107,275
売上総利益	24,612	19,492	20,785	22,021	25,278	11,617
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	9,695	7,355	3,733	20,569	5,283	2,175
セグメント資産	931,381	397,387	293,053	758,838	714,329	302,975

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	196,941	1,688,401	1,451	—	1,689,853
セグメント間収益	5	10,783	432	△11,215	—
計	196,946	1,699,184	1,884	△11,215	1,689,853
売上総利益	35,537	159,346	204	△877	158,672
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	3,284	52,098	3,509	3	55,612
セグメント資産	569,605	3,967,571	867,459	△299,728	4,535,302

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。



2020年3月期第1四半期連結決算概要〔IFRS〕

2019年7月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

連結経営成績	前年同期	第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
収益	16,500	16,898	398	2.4%
売上総利益	1,573	1,586	13	0.8%
販売費及び一般管理費	▲1,022	▲1,046	▲24	—
その他の収益・費用	14	16	2	—
営業活動に係る利益	564	556	▲8	▲1.5%
利息収支	▲41	▲40	1	—
受取配当金	111	95	▲16	—
その他の金融収益・費用	▲0	135	135	—
持分法による投資損益	52	68	16	—
税引前利益	687	815	128	18.7%
法人所得税費用	▲153	▲194	▲41	—
当期利益	533	621	88	16.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	466	556	90	19.2%
当期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	64	343	279	435.1%

主な増減要因
<p><b>【売上総利益】+13億円</b>                      アフリカ本部における自動車販売の増加等により増益</p> <p><b>【営業活動に係る利益】▲8億円</b>                      売上総利益の増加の一方で販売費及び一般管理費の増加等により減益</p> <p><b>【親会社所有者帰属当期利益】+90億円</b>                      営業活動に係る利益の減少の一方で機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部における関連会社株式売却益等により増益</p>

連結財政状態	前期末	第1四半期末	前期末比	
			増減額	増減率
資産合計	44,414	45,353	939	2.1%
(流動資産)	28,032	28,119	87	0.3%
(非流動資産)	16,382	17,233	851	5.2%
資本合計	13,896	13,802	▲94	▲0.7%
有利子負債(NET)	9,884	10,307	423	4.3%
D E R (NET)	0.8	0.8	0.0	—

主な増減要因
<p><b>【流動資産】+87億円</b>                      ・現金及び現金同等物 +269億円                      ・棚卸資産 +243億円                      ・営業債権及びその他の債権 ▲676億円</p> <p><b>【非流動資産】+851億円</b>                      ・有形固定資産 +963億円                      ・その他の投資 ▲66億円</p> <p><b>【資本合計】▲94億円</b>                      ・利益剰余金 +382億円                      ・在外営業活動体の換算差額 ▲210億円                      ・非支配持分 ▲269億円</p>

連結キャッシュ・フロー	前年同期	第1四半期	前年同期比
営業CF	▲23	657	680
投資CF	▲133	▲8	125
差引:フリーCF	▲156	649	805
財務CF	10	▲337	▲347

当期の主な要因
<p><b>【営業CF】</b>                      四半期利益による</p> <p><b>【投資CF】</b>                      有形固定資産取得による支出及び投資売却による収入</p> <p><b>【財務CF】</b>                      配当金の支払い</p>

本部別	前年同期	第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
金属	258	246	▲12	▲4.8%
グローバル部品・ロジスティクス	193	194	1	1.0%
自動車	212	207	▲5	▲2.1%
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	223	220	▲3	▲1.3%
化学品・エレクトロニクス	266	252	▲14	▲5.1%
食料・生活産業	100	116	16	16.1%
アフリカ	331	355	24	7.1%
合計	1,573	1,586	13	0.8%

当期利益(親会社帰属)の主な増減要因
前年同期並み
受取配当金の減少等により減益
海外自動車販売会社の取扱台数減少等により減益
電力事業における関連会社株式売却益等により増益
エレクトロニクス事業の利益率低下により減益
食料事業の取扱増加等により増益
自動車販売の増加による増益の一方で前期為替影響及び税金費用の増加等により減益

連結業績予想	前期実績	当期予想	前期比		
			増減額	増減率	
本部別	金属	998	1,020	22	2.1%
	グローバル部品・ロジスティクス	353	360	7	2.0%
	自動車	753	770	17	2.2%
	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	237	240	3	0.8%
	化学品・エレクトロニクス	887	920	33	3.7%
	食料・生活産業	227	240	13	5.5%
	アフリカ	898	930	32	3.5%
	親会社所有者に帰属する当期利益	187	270	83	43.8%
	親会社所有者に帰属する当期利益	1,075	1,100	25	2.3%
	親会社所有者に帰属する当期利益	184	230	46	24.7%
全社	売上総利益	6,384	6,630	246	3.8%
	営業活動に係る利益	2,151	2,370	219	10.1%
	税引前利益	2,291	2,510	219	9.5%
	当期利益	1,547	1,760	213	13.7%
	親会社所有者に帰属する当期利益	1,326	1,500	174	13.1%

1株当たり配当金	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
中間	45円	50円	60円(予想)
年間	94円	100円	120円(予想)
配当性向(連結)	25.4%	26.5%	28.2%(予想)

主要指標推移			前年同期(前期末)	第1四半期
為替	円/米ドル	平均	109	110
		期末	(111)	108
	円/ユーロ	平均	130	123
		期末	(125)	122
金利	円TIBOR3M平均	0.07%	0.07%	
	米ドルLIBOR3M平均	2.34%	2.51%	
ドバイ原油(米ドル/bbl)			71	67
ソココン(セント/Bushel)			383	391

※上段:売上総利益、下段:親会社の所有者に帰属する当期利益